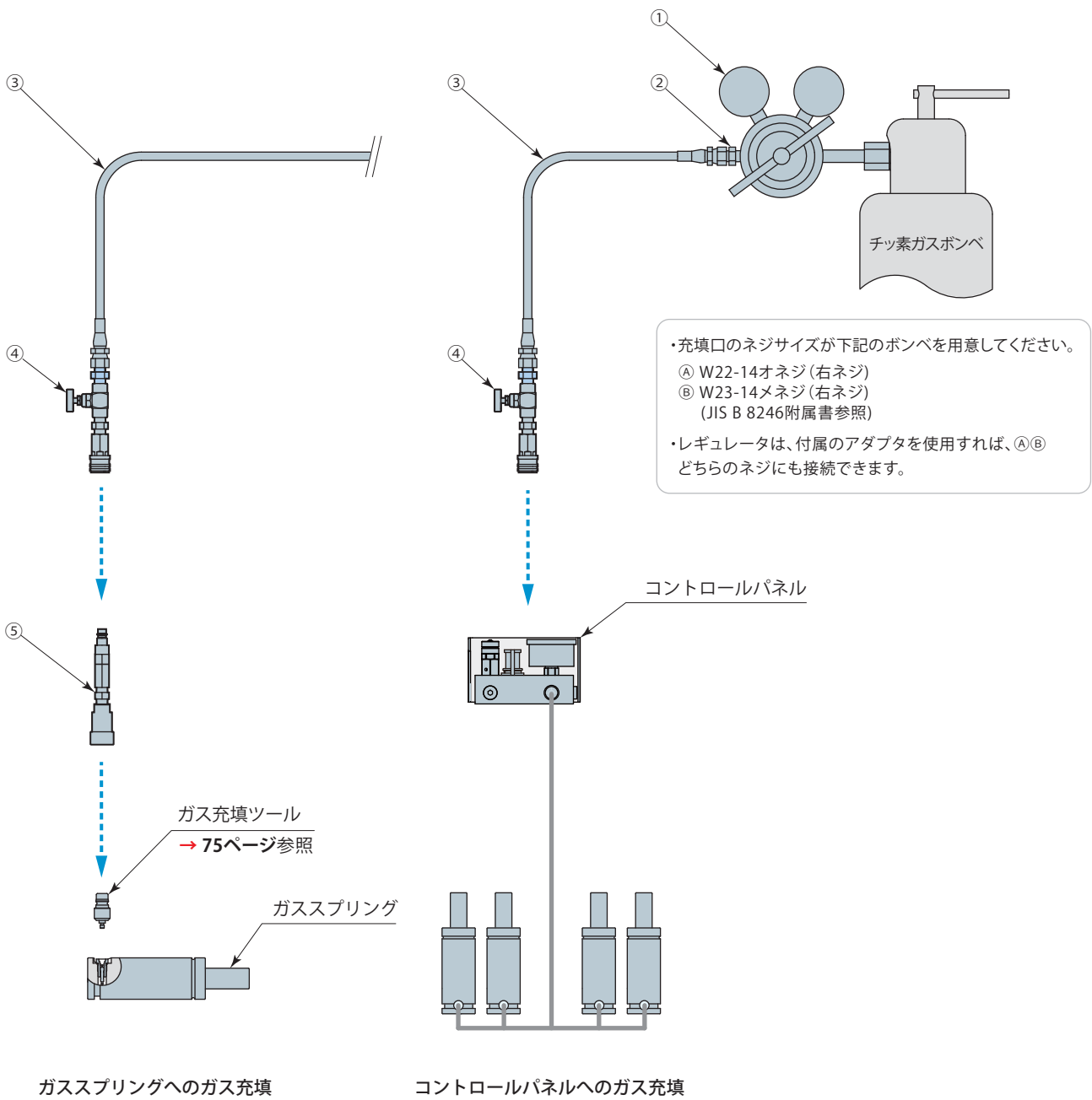


ガス充填・排出機器



符号	品名	型式	備考	質量 g
①	レギュレータ ※	3HDKA68601	アダプタ付属	3200
②	ホース継手	3HDKA68602	JIS規格品：A1-6 (JIS B 8363)、ネジサイズ：G1/4-R1/4	40
③	高圧ホース	3HDKA68603	最高使用圧力 34MPa、ホース外径 10.4mm、長さ 3m	400
④	チャージバルブ	DNJ-HDKA6840	カブラは、圧力がかかっても脱着ができます。	230
⑤	アダプタ	DNJ-HDKA5470		370

※ レギュレータを海外で使用する場合は、現地のボンベの充填接続口ネジサイズを確認してください。国や地域によってネジサイズが異なる場合があります。詳細はお問合せください。

ガス充填・排出機器




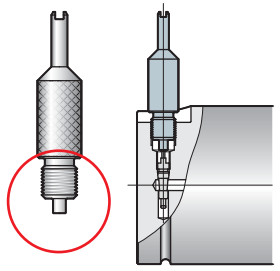
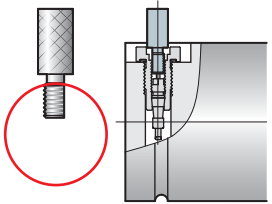
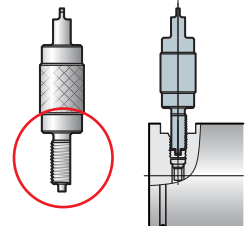
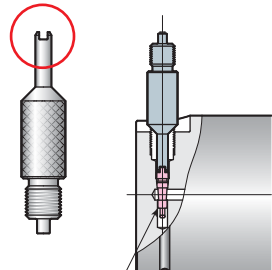
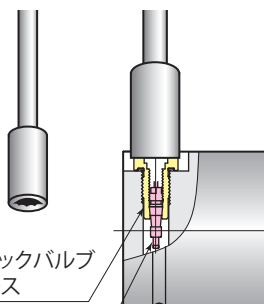
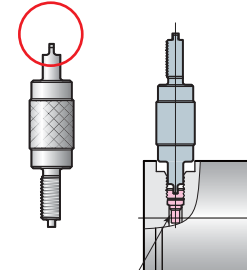
ガススプリングの型式によりガス充填・排出ツールの形状が異なります。

ガススプリング型式	ガス充填ツール	ガス排出ツール
DNK1500～9500 DNR4200～9500	model DNJ-C-CMG 質量：50 g 	model DNJ-C-G 質量：30 g
	DNK0750・1000 DNP1000～18300 DNA0250～5000	model DNJ-C-CM 質量：50 g
DNK0350・0500 DNR0350～2400 DNP0420※		model DNJ-C-CM6 質量：60 g

※ model DNP0420はガス排出ツールを使用してガスを排出することができません。ガススプリングを廃棄する場合には、ガススプリング底面（シリンダベース）にあるM6タップ穴の底にφ2.5キリのドリルで穴をあけ、ガスを完全に排出してください。（ガス排出作業を行なう際には、危険防止のため、保護メガネを着用してください。）

単体仕様を配管仕様へ変更する（保証対象外）

単体仕様のガススプリングを配管仕様へ変更する場合、チェックバルブの取外が必要です。
 チェックバルブの取外方法は、ガススプリングのプラグ形状により異なります。

<p>プラグの形状を確認してください。</p>	 <p>プラグ → 5</p>	 <p>プラグ → チェックバルブベース</p>	 <p>プラグ → 2.5</p>
<p>プラグ</p>	<p>丸, シルバー</p>	<p>丸, 黒</p>	<p>丸, 黒</p>
<p>チェックバルブベース</p>	<p>—</p>	<p>六角, シルバー</p>	<p>—</p>
<p>ガス排出ツール</p>	<p>model DNJ-C-G</p>	<p>model DNJ-C-5</p>	<p>model DNJ-C-M6</p>
<p>使用工具</p>	<p>5mm レンチ</p>	<p>マイナスドライバー, 14mm ソケットレンチ</p>	<p>2.5mm レンチ</p>
<p>1 工具を使用し、プラグを外してください。</p>	<p>5mm レンチ</p>	<p>マイナスドライバー</p>	<p>2.5mm レンチ</p>
<p>2 ガス排出ツールのネジ側を使用しガスを抜いてください。</p>	<p>model DNJ-C-G</p> 	<p>model DNJ-C-5</p> 	<p>model DNJ-C-M6</p> 
<p>3 ガス排出ツールのツメ側または14mmのソケットレンチを使用し、チェックバルブ/チェックバルブベースを外してください。</p>	<p>model DNJ-C-G</p>  <p>チェックバルブ</p>	<p>14mm ソケットレンチ</p>  <p>チェックバルブベース チェックバルブ</p>	<p>model DNJ-C-M6</p>  <p>チェックバルブ</p>

- チェックバルブの取外作業を行う際は、内部にごみが入らないよう注意してください。
- 単体仕様から配管仕様への変更作業は、製品保証対象外です。

ガス充填・排出時の注意

- 充填ガスは必ずチッ素ガス(N₂)をご使用ください。可燃性・爆発性のガスは絶対に充填しないでください。爆発事故の原因となり、大変危険です。(図1)
- シリンダにマーキングされている圧力以下でガスを充填してください。(図2)
 ガス充填圧力範囲：3.4 MPa～15 MPa(20℃)
 model DNK0350, DNR0350のみ3.4 MPa～18 MPa
- 容積の大きいガススプリングに充填するときは、レギュレータの圧力計が指定圧を指している場合、チャージキット内のガスの流れが止まるまで充填を続けてください。(図2)
- ガス充填はピストンロッドがシリンダから完全に出ている状態で行なってください。ピストンロッドがシリンダに入った状態で充填を行なう場合には、0.5 MPa以下の圧力で充填を開始し、ピストンロッドを完全に出してから昇圧してください。(図3)
 急激に高圧のガスを充填してピストンロッドを出さないでください。ガススプリングの破損につながるだけでなく、周辺の機器や人体に重大な損傷や危険を及ぼします。
- ガススプリングに荷重をかけたままで、ガスの充填および排出を行なわないでください。
- 廃棄する場合は、必ずガスを完全に排出してください。ガス排出ツールについては →75ページ を参照してください。
- 海外に出荷するガススプリング(記号-OS)は、ガスを充填せずに出荷しますので、使用前にガスを充填してください。ガス充填後は圧力設定シールに油性ペンで充填圧力を記入してください。

